

水質環境基準の水域類型の見直しに関する平成 28 年度 第 1 回 水質部会における委員意見及びその対応について

各委員の方からいただきました御意見に関する事務局の対応は以下のとおりです。
修正等した部分の詳細は、参考資料 3-1 から参考資料 3-3 の下線部分となります。

1 参考資料 3-1 (平成 28 年度 第 1 回 資料 2-2)

委員の御意見	左の対応
P.2 の見直し予定の A~D ブロックの表記 (表 2、図 1) が、環境基準の AA~E 類型の表記と混同してしまわないか。	ブロックのアルファベットの表記を、アラビア数字を囲んだ ¹ などの表記に改め、関連部分 (追加資料を含む。) をすべて修正しました。 例 (変更前) A ブロック (変更後) ブロック ¹
P.3 の 3 (2) 県の考え方 (案) に水域類型の見直しをしない水域の達成期間の見直しの考え方について記載してはどうか。	3 (2) のフロー図中、「水域類型の見直しをしない」囲みの図に、考え方を記載しました。 合わせて、「上位の類型と比較した環境基準の達成状況」囲みの図に、説明を記載しました。
BOD 以外の項目の取り扱いについて、P.3 の 3 (2) に県の考え方を記載してはどうか。	3 (2) の冒頭にその旨を記載しました。

2 参考資料 3-2 (平成 28 年度 第 1 回 追加資料 (見直し案))

委員の御意見	左の対応
BOD と BOD 75% の違いの説明を記載してはどうか。	県民意見募集 (案) の添付資料となる追加資料 (庄内川等水域の一部と豊川等水域の水域類型の見直し案) P.1 に備考 1 として、その旨を記載しました。

3 参考資料 3-3 (平成 28 年度 第 1 回 追加参考資料 (県民意見募集案))

委員の御意見	左の対応
見直し対象外とした河川のコメントを記載してはどうか。	P.1 の冒頭にその旨を記載しました。 合わせて、見直しを検討した 12 水域名すべてについて、P.2 に記載しました。
P.3 以降の図 2、図 3 に環境基準点等の凡例を記載してはどうか。	図中の右下に凡例を記載しました。